



IRIS活動報告集IV

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-02-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/14793

IRIS講習会

サイエンス・コミュニケーションの企画や実施についてのポイントを学ぶ講習会を実施しました。講師の体験談を聞き、企画・実施についての基礎を学んだ後、実際にグループに分かれて企画するワークショップを行いました。

日時 2014年11月20日(木)
場所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
参加者数 10名
講師 黒田桂菜(現代システム科学域 助教、IRIS-OG)



企業研修

企業訪問 | 花王株式会社

今年度は「女子中高生のための関西科学塾」の企画に参加しました。

日時 2014年8月6日(水)
場所 花王株式会社和歌山工場 **参加者数** 1名



IRISから

花王株式会社の環境に配慮したモノづくりの説明を受けた後、「花王エコラボミュージアム」や工場を見学しました。女性研究者との交流会では、女子中高生とともに、理系の醍醐味から商品開発の面白さまで幅広いお話を質問を交えながら聞きました。私は、女子中高生の工場見学の引率、女性研究者との交流の仲介役として参加させて頂きました。中高生や研究員の方々と理系という進路に関する話・交流はとても新鮮で、自身のキャリア構築について改めて考える良い機会となりました。(工)松元

IRIS交流会

IRISのメンバーが交代で幹事となって、開催しています。お昼ごはんやおやつを持ち寄り色々な話をするので、専門分野を超えて交流しています。

日時 6月20日(金)、10月23日(木)
幹事 (理)尾崎、(工)川崎



IRIS活動報告会・IRISへのイベント実施申込説明会

IRIS第4期生が1年間活動した内容の報告と、来年度(2015年度)にIRISへ講師依頼を希望する団体を対象とした実施申込説明会を開催します。

日時 2015年3月23日(月)10:00~12:00
場所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(学術交流会館 小ホール)

他事業との連携

IRISのメンバーは、大阪府立大学に関わっている、他のサイエンス・コミュニケーション関連事業のスタッフとしても参加しています。

事業名	連携先(大阪府立大学内)	IRIS
女子中高生のための関西科学塾	関西科学塾運営事務局(地域連携研究機構 地域連携室)	(工)上野・木下・藤田・Nguyen Le An・吉村(生)堀内・徳田、(理)尾崎・西川
「未来の博士」育成ラボ	地域連携研究機構 地域連携室	(工)高田・藤田、(理)西川
ノートルダム清心学園清心女子高等学校(スーパーサイエンス・ハイスクール)との交流	清心女子高等学校SSH運営指導委員 田間泰子・人間社会学研究科教授 田島朋子・生命環境科学研究科准教授 中川智皓・工学研究科助教	(工)宇野(生)徳田(理)尾崎
集まれ!理系女子 女子生徒による科学研究発表交流会		(工)宇野

IRISから

「集まれ!理系女子 女子生徒による科学研究発表交流会」に参加させていただいた際には、高校生のポスターの完成度に加え、発表内容や発表手法もとても考えられており、驚きました。自分自身も人へ研究内容を伝えるための参考にしています。IRISの活動がなければ、このような高校生の活動を知ることはできなかったのも貴重な経験ができました。----- (工)宇野

IRISから IRISでよかったこと・今後してみたいこと

*IRISの活動を通して、他分野で活躍している女性たちが、どのような研究をしているのかなどについて知ることができました。今後は、社会で活躍している女性のキャリアパスを参考にし、自分のキャリアパスが人の参考になるものにしていきたいと考えています。----- (工)村西

*4月から入社する予定の企業では、偶然にも子どもたちへの科学教室を開催しているそうなので、積極的に参加して、IRISの話も広められたらと考えています。----- (工)鈴木

*IRIS 1期の頃よりメンバーとして参加し、4年目の活動でした。講師の先輩、現在のメンバーや、これから理系を志す人との交流が研究活動の未来や過去、様々な視点へ思いを巡らせてくれました。私自身は今期で大学院修了となりますが、今後もIRISを応援したいと思います。----- (工)上野

*IRISに入ることで、各イベントに参加する事が出来ました。バタバタしていましたが、研究をしながら子どもたちと一緒に楽しくやるイベントに参加できる大学院生活に、満足しています。来年度も、IRISのメンバーとして周りに何か貢献できればと思います。----- (工)Nguyen Le An

*第1期生から参加しています。IRISに参加することでわたしたち自身も他分野に触れ、科学の面白さを再発見し、成長できる場所でもありました。IRISを通じて得られた知識や人との繋がりや、これからもわたしを支えてくれる財産になると信じています。----- (理)尾崎

* (工)工学研究科 (生)生命環境科学研究科 (理)理学系研究科



アイリス IRIS 活動報告集IV

大阪府立大学 女性研究者支援センター 2014年度



女性研究者支援センター長
真嶋 由貴恵
 (工学研究科 教授)

科学の知恵を広げ、夢を育て、新しい未来を築くIRIS ー大阪府立大学 理系女子大学院生チームー

大阪府立大学は、平成22年度に全国の公立大学として初めて、文部科学省の女性研究者支援モデル育成事業に採択されました。今年度で丸5年が経過し、研究支援員の配置や相談・ロールモデルセミナー・女性研究者交流など、様々な女性研究者支援事業を行っています。その中で、最も重要な事業の一つとして理系女子大学院生チームIRISがあります。平成23年度から組織化され、大阪府内各地で「子どもサイエンス・キャンパス」を開催し、子どもたちに科学の面白さを伝えています。IRISという名称は、「I am a Researcher In Science」の頭文字をとり、そして、そのロゴは、大学本部のある堺市の市花でもあるアイリスの花をあしらっています。アイリスはギリシャ語で「虹」のことで、古代エジプトでは、アイリスの花弁は「信仰」・「知恵」・「勇気」の象徴とされ、あがめられていたようです。このアイリスのように、本学のIRISが科学分野での女性の活躍のお手本となり、社会に貢献してくれることを期待しています。

IRISから

IRISに参加した動機

高校では理系科目が好きだったものの、本当に理系に進学して良いかどうか悩んでいたという自分の経験談を、現在進路に迷っている高校生に話すことができると思いました。
 (工)木村

塾講師のアルバイトをしていますが、IRISなら塾とは違う方法で子どもたちに化学の楽しさを伝える良い機会だと思って参加しました。
 (工)石山

私がIRISに参加した理由は、自分が企画した実験を通じて、子どもたちに科学の面白さや楽しさを学んで欲しいと思ったからです。しかし実際には、子どもたちやIRISメンバーとの出会いや交流を通じて、自分自身が成長できる場でもありました。
 (工)高田

科学の面白さを伝え、理系女子を増やしたいと思い、第1期から続けてきました。みんなで実験教室等を運営する楽しさや、参加者に興味を持ってもらえる内容にする難しさなど、多くの貴重な経験を得られました。
 (工)高井

IRIS第4期生(28名)

工学研究科	専攻	分野
高井 飛鳥 D2#	機械系	機械工学
木下 裕美子 M2		
大堀 茜 M1		
高岡 麻衣 M1		
西村 静恵 M1	電子・数物系	数理工学
橋本 静香 M2		
小崎 一步 M1	電気・情報系	電気情報システム工学
木村 祥子 M1		
上野 未貴 D3		
宇野 由里恵 M2		
村西 真依 M2		
吉村 あかね M1		
島田 美佳 M1		
Nguyen Le An (グエン レ アン) M1	物質・化学系	応用化学
鈴木 寛子 M2		
藤脇 未伽 M2		
石山 純菜 M1		
松元 陽子 M1		
川崎 梓央 M1		
高田 瑠子 D1	化学工学	
中島 淑乃 M1		
藤田 萌花 M2	量子放射線系	量子放射線工学
生命環境科学研究科		
堀内 寛子 D1	応用生命科学	応用生命科学
上平 智恵 M1		
徳田 綾也子 D2	緑地環境科学	緑地環境科学
理学系研究科		
倉津 麻衣 M1	分子科学	分子創成
尾崎 由季 D3	生物科学	細胞組織工学
西川 麻裕 D1		

*D:博士後期課程、M:博士前期課程



大阪府立大学
 女性研究者支援センター

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 (中百舌鳥キャンパス B16棟)
 TEL・FAX (072) 254-9856
 E-mail w-support@ao.osakafu-u.ac.jp URL http://www.osakafu-u.ac.jp/genki/

IRIS編集委員
 西川麻裕 松元陽子 発行：平成27年2月

* (工)工学研究科

子どもサイエンス・キャンパス

理系で活躍している女子大学院生の存在を知ってもらい、科学の楽しさを伝えるために、子どもサイエンス・キャンパスを開催しました。

* (工)工学研究科 (生)生命環境科学研究科 (理)理学系研究科

★大阪府立大学・花(さくら)まつり 「クロマトグラフィーで分離実験」

日時 2014年4月5日(土)
会場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
主催 大阪府立大学ネイチャービュー実行委員会
実施 大阪府立大学女性研究者支援センター
参加者数 20名
IRIS (工)藤田、(生)堀内、(理)西川



★いづみさの女性センター 「光るスライムをつくろう！」

日時 2014年8月26日(火) **参加者数** 15名
会場 泉佐野市立生涯学習センター **IRIS** (生)徳田
共催 いづみさの女性センター
大阪府立大学女性研究者支援センター

★和泉市立青葉はつが野小学校 「水中エレベーター/ ダイランシーを 体験しよう」

日時 2014年10月18日(土)
会場 和泉市立青葉はつが野小学校
共催 和泉市立青葉はつが野小学校PTA・
大阪府立大学女性研究者支援センター
参加者数 75名
IRIS (工)村西、(工)川崎、(工)西村

★メイドインさかいフェア 2014 「石鹸で進む船」

日時 2014年11月9日(日)
会場 堺商工会議所
共催 堺商工会議所・株式会社マスター
大阪府立大学女性研究者支援センター
参加者数 153名
IRIS (工)川崎、(工)大堀、(工)高岡

★和泉市男女共同参画センター 「くだもの・やさいで電池をつくろう！」

日時 2014年8月23日(土)
会場 和泉市男女共同参画センター
共催 和泉市男女共同参画センター・
大阪府立大学女性研究者支援センター
参加者数 23名
IRIS (工)村西、(工)Nguyen Le An



★高石市 「紫キャベツで不思議な体験をしよう！」

日時 2014年9月27日(土) **参加者数** 親子10組27名
会場 高石市立取石公民館 **IRIS** (工)村西
共催 高石市総務部人権推進課・
大阪府立大学女性研究者支援センター (工)中島

★河内長野市 「オレンジパワーで スタンプを つくろう」

日時 2014年11月16日(日)
会場 ソフィア堺
主催 堺市教育委員会
後援 大阪府立大学
参加者数 150名
IRIS (工)小崎、(工)吉村
(工)島田、(工)中島



★サカイエンス 2015 「偏光版で ステンドグラス」

日時 2015年2月1日(日)
会場 ソフィア堺
主催 堺市教育委員会
後援 大阪府立大学
参加者数 150名
IRIS (工)小崎、(工)吉村
(工)島田、(工)中島

IRIS から

*子どもたちに対して実験を行ったとき、その大変さと科学の面白さを再確認しました。今後、子どもだけではなく、おとなの方にもIRISの活動を知ってもらい活動などがしたいと思います。--- (工)中島

*小学生にも分かるようにできるだけ簡単な言葉で実験を解説する、という普段の研究活動とは違う難しさを感じました。IRISに参加していなければできない経験で、自分の研究などについても見つめ直すきっかけとなりました。----- (工)島田

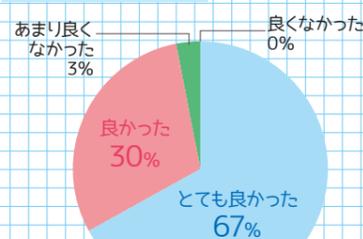
*小中高生向けのイベントは、理系の女子大学院生への世間の漠然としたイメージを、より具体的にかつ事実に近いものに近づけるものですね。それがきっと科学の発展や女性の地位確立に役に立つ。もっとも、そんなことは綺麗に忘れて小学生と楽しく戯れさせていただけました。微力ながら何かの力になっていれば幸いです。----- (生)徳田

*子どもたちが楽しそうに実験している姿を直接見て、将来科学に興味を持って欲しいと心から思い、また、自分が親になったら、このような体験をたくさんさせてあげたいと思いました。----- (工)高岡

*実際に参加してみると、実験選び、リハーサル、資料作り、本番と、なかなか大変であることが分かりました。しかし、子どもたちが興味を持って実験する様子を見ると、頑張っただけよかったなと思いました。小学生に実験の原理をどう説明すれば理解してもらえるか、と考えるのは自分の勉強にもなりました。----- (工)川崎

*親御さんと話していると、やはり理系の女子は大変そうだという印象が強くなり、理系女子の浸透にはまだまだ時間がかかりそうだなと感じましたが、企画自体は子どもたちは楽しんでくれたようで、これが子どもたちの進路を決める一つのきっかけになればいいなと感じました。---- (工)大堀

参加者アンケート



- たのしかったです。おうちでじっくりしてみます。
 - 何色に変わるか予想して、実験できて、とても楽しかったです。また違うところに実験に行きたいです。
 - スライムの作り方が気になっていることを全部教えてもらって、こんどは家でつくってみたいです。とても勉強になりました。
 - しょうらいの夢が植物に関係することなので、IRISの先生の話がおもしろかったです。
- ◆こういう企画は、子どもたちにとってはとてもいい経験・体験になると思います。女子院生というのもステキです。継続して理系に興味を持つ子どもたちが増えるといいですね。説明、サポート、わかりやすかったです。
- ◆子どもが科学に興味をもつきっかけになるような面白い実験を今後も続けてほしい。
- ◆子どもと一緒に、必死でやっている自分を見て、子どもにとっても、私にとっても、いい経験になりました。
- ◆とてもおもしろかったです。身近な材料で、この様な実験を体験できて、親子で参加できる機会があれば、また参加させていたきたいです。
- ◆初対面の者同士なので、最初にアイスブレイクタイムを設けると、友好的な雰囲気になって楽しい時間になると思います。

高校生との交流会(オープンキャンパス)

めざせ!理系女子コーナー 先輩と話そう!

理系への進路を考えている女子高校生・受験生とその保護者を対象に開催しました。女子高校生・受験生はIRISと少人数でのグループトークで、保護者には運営委員の先生方から、大学生活の様子や研究の内容などについてお話し、質問に答えました。



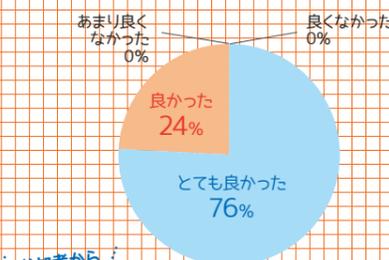
日時 2014年8月2日(土)・3日(日)
場所 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
主催 大阪府立大学女性研究者支援センター
参加者数 のべ63名
IRIS (工)宇野、(工)松元、(工)川崎、(工)中島、(工)藤田、(工)村西
(生)堀内、(理)尾崎、(理)西川

IRIS から

*今年は企画段階から参加して活動し、運営側から企画を見つめ先生方や女性研究者支援センターのスタッフと議論して作り上げたイベントが成功したときは、充実感とともに達成感を得ることができました。----- (理)西川

*理系の女子高校生と交流し、研究内容に対して明確な希望を持っている子もいれば、ただなんとなく理系に進んだのでどうすればいいかわからない子もいると感じました。来年度からは教育の現場で働きます。IRISでの経験を活かし、一人一人の生徒に対して理系に対する夢を与えられる存在になりたいと思います。----- (工)藤田

参加者アンケート



参加者から

- ★女子学生の比率がわかってよかった。女子でも理系でやっていけると思った。
- ★いろいろお話をきいて、参考になりました。女子の就職について、もう少し知りたいです。
- ★資料が詳しく、とても参考になります。今後もこのような企画をしてほしいです。

若者のためのライフデザイン支援

結婚・出産・子育てしても、仕事を続けて活躍したい! 一社会人の先輩に学ぼう!一



IRISの提案企画が大学コンソーシアム大阪「若者のためのライフデザイン支援事業(若者層男女共同参画啓発事業)」(大阪市受託事業)に採択され、学生による学生のためのライフデザイン支援事業を実施しました。

IRIS から

*企画者として参加し、他分野の先輩後輩や先生と案を出し合い助けていただきながら、着々と事業として形にしていくという普段の研究活動ではできない経験をさせていただきました。----- (工)藤田

*さまざまな経歴の社会人の方々とお話しでき、また、パネルディスカッションのファシリテーターを体験させていただき、とても貴重な経験になりました。----- (生)堀内

*私の所属する電気・情報系の分野では女性の数が圧倒的に少なく、結婚や出産といった女性ならではのライフイベントとこれからの働き方について迷っていましたが、社会人の方のお話を聞いたり、同世代の学生と将来の働き方について意見を交わしたりしたことで、たくさんの考え方・働き方があることを知り、将来のキャリアプランを考える助けになりました。今後もイベントを続けて、自分のようにキャリアで悩む女性の助けになればと思います。----- (工)小崎

●勉強会に参加

日時 2014年11月15日(土)
場所 キャンパスポート大阪

●講演会、ワークショップを開催

日時 2014年12月13日(土)
場所 大阪府立大学I-Siteなんば

●ワークショップを開催(大阪市立大学と共同実施)

日時 2015年1月22日(木)
場所 大阪市立大学杉本キャンパス

●フォーラムにて(大阪市主催)実績報告

日時 2015年3月7日(土)
場所 あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール